

幸ヒ得意先ヨリ工賃ノ収入アリシヲ以テ本日五百廿拾五
圓六十四錢ヲ支拂フヘキニ付残額ノ支拂ヲ暫時猶予セラ
レタリト諒解ヲ求メタルニ

職工代表ヨリ

然ラハ残額及八月分ノ債銀支拂日ヲ明示セラレタリト述
ベタルニ

事業主ヨリ

七月分残額ハ速クニ支払ヒ八月分ハ九月十日ニ支払フ旨

回答シタルニ

職工代表ヨリ

然ラハ必ス九月十日ニ支拂フ旨ヲ記載セル念書ヲ提出セ
ラレタイト要求シタルニ

事業主側ヨリ

念書ヲ提出シテモ約束期日ニ支拂出未サレハ念書ハ何等
效ナキヲ以テ事業主ヲ信用シ就業セラレタイト説得セル
モ職工側ハ承諾セサル為メ事業主ヨリ誠意ヲ披歴シテモ
諸君ハ諒解出未サルニ於テハ工場閉鎖止ムナシト強硬態
度ヲ示シ合見ヲ終リタリ

(2) 労働者側ハ午後五時頃工場ニ於テ職場会議ヲ開催対策協
議ノ結果工場閉鎖ニ依リ無職ヲ覚悟シ別部(一)要求書ヲ決
定榎村常太郎外一名ヲ代表トシ工場所有者諏訪頼雄ニ手
交セリ

(3) 事業主側ハ廿八日午後六時頃工場閉鎖ヲ發表シタルガ勞
働者側ハ翌廿九日在田谷区玉川町一五四番地ニ一テラ
借入レ爭議團本部ヲ設ケ結束ヲ固メタルガ労働者中事業
主ノ強硬態度ニ辟易シ職工十一名ハ爭議團ヲ脱退出勤セ